

景観シミュレーション自己評価書

シミュレーションの距離帯		評価基準（考え方）	評価対象	基準のチェック	評価基準に対するコメント
遠景	<p>●背景との関係が読み取れる距離 ↓ 位置・規模を評価</p> <p>（目安 1)1,000m程度 2)最大寸法 20 倍 例) 高さ 50mの場合 距離 1,000m 程度</p>	<p>●大景観と調和しているか（地域の景観の特徴との関係）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観形成基準や広域景観形成基準がある場合、景観形成の目標に適合しているか。 ・地域の景観の優れた特徴を乱していないか。 ・親しまれている眺望を妨げていないか。 	① 位置	—	<p>現況調査結果より遠景からは計画建物が見ないため、シミュレーションは不要とした。</p>
			② 規模	—	
			③ スカイライン	—	
中景	<p>●建物の周辺の状況がわかる距離 ↓ 主要部位を評価</p> <p>（目安 100～500m程度）</p>	<p>●中景観と調和しているか（周辺景観とのバランス）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の優れた景観特性を乱していないか。 ・過剰に目立っていたり、雑然としていたり、周辺に景観阻害感を生じていないか。 	① 基調色	—	<p>現況調査結果より中景からは計画建物が見えないため、シミュレーションは不要とした。</p>
			② おおまかな形状	—	
			③ 主要な付属物 〔屋上設備 屋上階段 ペランダ等〕	—	
			④ 特殊な材料 (金属やミラーなど)	—	
近景	<p>●隣接する建物との関係や通りの雰囲気がわかる距離 ↓ ディテールを評価</p> <p>（目安 50m程度）</p>	<p>●小景観と調和しているか（通りの雰囲気と建物のデザインとの関係）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通りの雰囲気を悪い方向に乱していないか。 ・商店街や住宅地といった通りの性格や将来計画に照らし合わせて適当なデザインか。 ・建物の立つ場所の特性（交差点に面するなど）に配慮しているか。 	① 壁面意匠 〔ファサード意匠 側面の仕上げ 壁面設備〕	○	<p>外壁の色彩は無彩色を基調とし、周辺の景観に馴染むよう配慮した。 (マンセル値 N7.7) ✓</p> <p>照明広告物は夜間景観に配慮したければばしくないものとし、点滅しないものとする。</p> <p>フロント：2本の柱に使用（マンセル値 5R4/14） 客室他：窓面柱から 20 cmの部分に使用（マンセル値 N2） ✓</p> <p>周囲の景観との調和に配慮し、無彩色（マンセル値 N7.7）を基調とした落ち着いた雰囲気とした。</p> <p>周辺の景観との調和に配慮して、敷地外周に植栽による緩衝帯を設けた</p>
			③ 看板類	○	
			④ アクセントカラー	○	
			⑤ 低層部の雰囲気	○	
			⑤ 敷地利用 (緑化など)	○	
			① 低層部のディテール・意匠・材料・構造	○	
地点	<p>●周辺の公共空間（前面道路の歩道など）との関係がわかる距離 ↓ 道路際の造作を評価</p> <p>（目安 10m前後）</p>	<p>●前面の公共空間と調和しているか（道路際の雰囲気）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路敷が雑然としていないか。 ・地区固有の行事などに支障はないか。 ・前後の歩道の雰囲気を乱していないか。 ・その他、圧迫感や歩きにくさを感じさせるようなところがないか。 	② 敷地のデザイン 〔敷地の舗装 緑化状況 駐車場の見えなど〕	○	<p>建物は平屋建てとし、道路との離隔を大きく確保することで周辺景観から突出しないよう配慮した。</p> <p>ホテルのアプローチとして必要な駐車場、車寄せを設けた。周辺の商業施設などと同様に、道路から駐車している自動車が直接視認できる形態とし、景観の調和や利便性に配慮して計画した。</p>